

名ばかり
保険は

保険料だけ取り立て 介護は受けさせない

政府と自民・公明両党がごり押しし、民主党の賛成で成立した、介護保険制度の大改悪法が四月から全面実施されました。昨年10月から施設での食費・居住費が全額負担となり、負担しきれず退所者が相次ぐなか、今度は介護ベッド・車イス、ヘルパーやデイサービスなどが取り上げられています。保険料は現役時代は給料から、退職後は年金からも容赦なく「天引き」されながら、利用しようにも施設整備が遅れていることや、利用料負担が重いため、これまでも「保険あって介護なし」と言われてきました。今回の改悪は一層の負担増に加えて、「介護の社会化」という介護制度の「看板」まで投げ捨てる重大な変質です。さらに、政府は利用料を一割から二割負担への引き上げや、軽度者を介護保険の対象から外すことまで検討しています。

日本共産党は、公的な介護制度の大後退に歯止めをかけ、「介護とりあげ」をやめさせるために、緊急要求を発表しました。この実現めざし国民のみなさんと力をあわせて全力を尽くします。

日本共産党の緊急要求骨子

- 1、介護ベッド、車イスやヘルパーなどのとりあげをやめさせる
- 2、保険料値上げをおさえ、減免制度を充実する
- 3、介護が必要と認定されても、保険が利用できない事態をなくす
- 4、介護施設の利用料をおさえ、施設不足を解決する
- 5、高齢者の生活をささえる自治体の仕事を後退させない
- 6、現場で高齢者を支える介護労働者・事業者をまもる

※詳しくは、別紙・号外、または、日本共産党のホームページ
http://www.jcp.or.jp/seisaku/2006/060829_koureisya_kaigo.html をご覧ください

“介護とりあげ” やめさせ
公的介護制度の大後退を
くいとめる共同をよびかけます



日本共産党
北関東ブロック
事務所ニュース
2006年9月 No.41

さいたま市大宮区北袋町1-171-1

☎ 048(649)0409 FAX 048(642)2793

E-mail: kitakanto-bl@nifty.com

<http://www.cpi-media.co.jp/jcp-kitakantou/>

ベッド 27 万台、車いす 11 万台、ヘルパー取り上げ……

福祉用具の取り上げを中止して

要介護者 1 以下の高齢者は車イスや介護ベッドなどの貸与が 10 月から受けられなくなります。電動ベッド 27 万台が利用している人から貸しはがされます。車イス 11 万台が利用できなくなります。弱者いじめの貸しはがしは止めるべきです。



軽度者からの介護とりあげを中止して



ホームヘルパーなどの利用時間や回数が減らされています。高齢者が必要なサービスを今までどおり利用できるように介護報酬を改善し、要支援 1・2 の人の利用限度額も引き上げるべきです。

サービスとりあげの行政指導をやめさせて

国が市町村に給付削減を競わせていることが、サービス低下の大きな原因です。サービス切り捨てる指導はやめるべきです。



“介護の貸しはがしはただちに中止して”

紙
かみ
ともこ
智子

日本共産党
中央委員・参議院議員
(比例代表)



紙智子のホームページ
<http://www.kami-tomoko.jp/>
「紙 智子」で検索

これまで一生懸命働いて、日本経済と社会をささえ、子どもを育ててきたお年寄りの方々が、安心して老後生活をおくれるようにすることは、政治の第一義的仕事です。保険料だけ強制的に天引きしてサービスは受けさせないことになれば、国による詐欺といわれても仕方のないことで、あつてはならないことです。家族介護の深刻な実態を考えると、公的な介護制度は改善・充実こそとめられていきます。日本共産党は、国民のみなさんとの共同をひろげ、誰もが安心して利用できる介護制度をめざして頑張ります。